

# 平成31年度事業計画

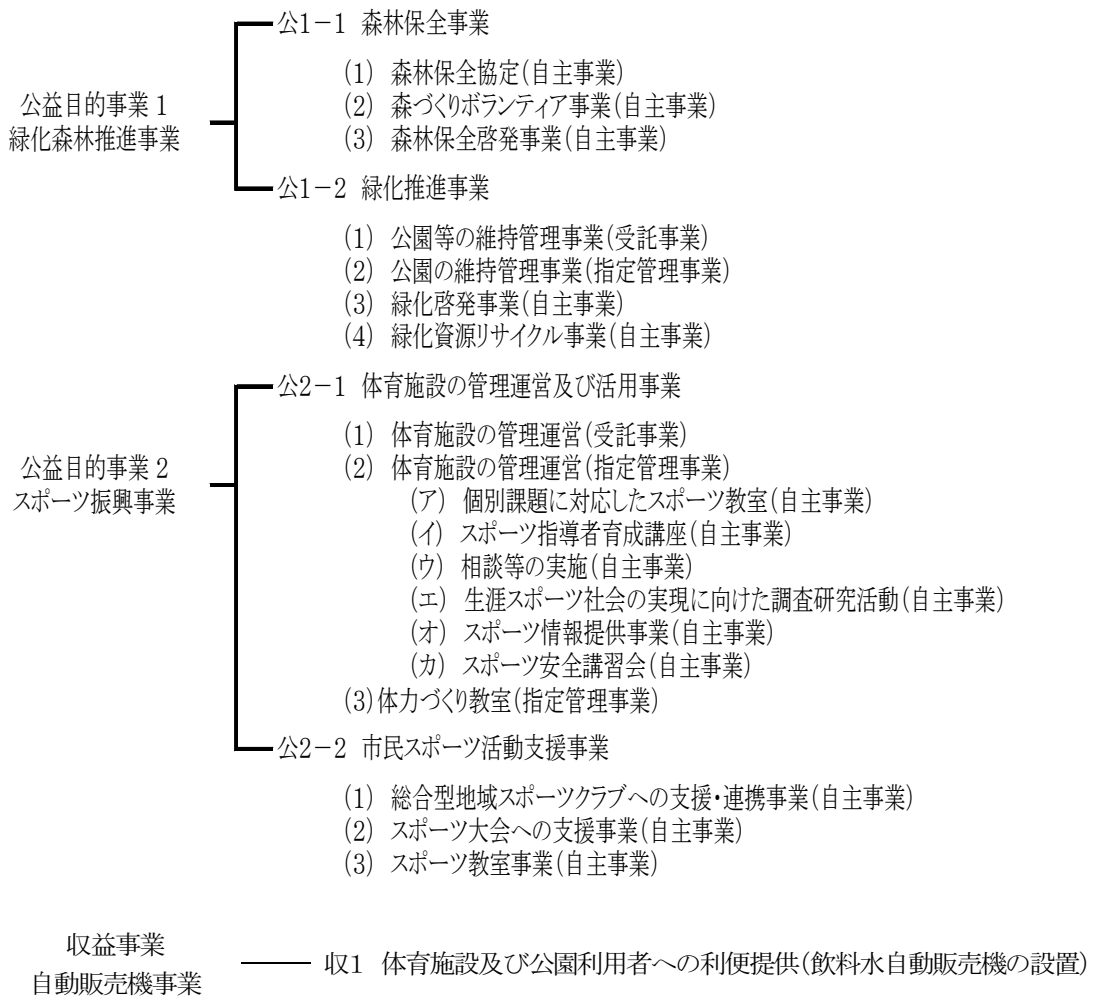
## はじめに

平成24年4月1日付で公益財団として大阪府の認可を受け、本年度は公益財団法人高槻市みどりスポーツ振興事業団として8年目を迎えることとなりました。

当事業団は、高槻市における森林の保全と緑化を推進し、森林等自然環境の健全な利用を図ると共に、市民の体力向上とスポーツ振興を図る事業を行い、快適な生活環境づくりと豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に寄与することを目的とする公益事業並びに、各種施設の利便提供を図るための飲料水等自動販売機の設置を行う収益事業を展開しています。

## 事業体系図

事業・組織体系図



# 公益目的事業 1（緑化森林推進事業）

## 1 森林保全事業

### (1) 森林保全協定(森林銀行制度)

本制度は、平成元年に創設され現在に至っているが、その間に相続等により森林所有者の変更が相当数発生した。事業団は、これらの新たな森林所有者に対し、高槻市との協働により、より多くの森林保全協定締結に向け森林銀行制度を周知し、森林保全に努める。

### (2) 森づくりボランティア事業

#### ① 市民参加の森づくり事業

萩谷総合公園及び神峰山の森において、公募による市民、森林ボランティア団体及びNPO法人に対し、積極的な森づくりに参加できる機会を提供し、森林の良好な保全に努める。

#### 神峰山の森

毎月4回	神峰山の森づくりボランティア事業	神峰山の森自然園
4月	神峰山の森『春の自然観察会』	神峰山の森自然園
10月	神峰山の森『秋の自然観察会』	神峰山の森自然園

#### 森づくりボランティア

5月	第1回 森づくりボランティア事業	萩谷総合公園
9月	第2回 森づくりボランティア事業	萩谷総合公園
3月	第3回 森づくりボランティア事業	萩谷総合公園

#### ② アドプトフォレスト事業支援

企業の社会貢献活動の一環で、大阪府アドプトフォレスト制度により企業が行う森林整備に関し、大阪府、高槻市とともに活動を支援する。

#### ・原城山森づくり事業

複数の企業が参加する大字原の城山地区において森林(竹林を含む。)整備活動を引き続き支援する。

11月	原城山森づくり事業合同イベント	原城山地区
-----	-----------------	-------

### (3) 森林保全啓発事業

保育所や幼稚園の園児が、萩谷総合公園の緑に直接ふれあい遊ぶことにより、森の大切さを楽しく学ぶことを目的とする「自然観察会」や、緑の中での親子のふれあいをめざす「里山で遊ぼう・親子特集」を実施する。また、炭の窯出しなどの炭づくり体験や発電実験にチャレンジする「炭づくり体験教室」やモリアオガエルの卵塊観察などを行う「モリアオガエルとの出会い」を開催する。また、里山で遊ぼう“親子特集”や「里山入門(森を知ろう・樹を知ろう)」で、市民に萩谷総合公園をより広く紹介する。さらに「農林業祭」の参加者に事業団の事業をPRし、森林保全の啓発に努める。

## 森林保全啓発事業

6月	モリアオガエルとの出会い	萩谷総合公園
7月	『里山で遊ぼう』親子特集	萩谷総合公園
10月	里山入門(森を知ろう・樹を知ろう)	萩谷総合公園
10月～11月	自然観察会<私立幼稚園・私立保育所>	萩谷総合公園
11月	第46回高槻市農林業祭	史跡嶋上郡衙跡
11月	第1回 炭づくり体験教室	萩谷総合公園
3月	第2回 炭づくり体験教室	萩谷総合公園

## 2 緑化推進事業

### (1) 公園等維持管理受託事業

事業団直営若しくは委託により樹木剪定等を実施することにより城跡公園・摂津峡公園をはじめとする高槻市内の公園や街路樹等の良好な維持管理を行い、市内都市部における緑化推進に努める。

### (2) 萩谷総合公園及び古曽部防災公園の指定管理事業

主に事業団直営で萩谷総合公園・古曽部防災公園の樹木剪定等を行い、公園の良好な維持管理に努める。

### (3) 緑化啓発事業

「都市緑化フェア」を高槻市・高槻市緑花推進連絡会と共催するほか、「身近なみどりの写真展」を高槻市庁舎内で開催することにより緑化の啓発を行う。

4月～5月	身近なみどりの写真展	市役所総合センター
10月	第35回都市緑化フェア	城跡公園

### (4) 緑化資源リサイクル事業

公園や街路樹の剪定枝を活用し、リサイクル養土や薪の生産を行うことで剪定枝の処分費用の軽減と資源の有効な利活用を図る。また併せて教育並びに高槻市関連団体等に養土の配布を行うことで緑化資源リサイクル事業の啓発に努めると共に、森林の保全と都市緑化の推進に寄与する。

## 公益目的事業 2 (スポーツ振興事業)

### 1 体育施設の管理運営及び活用事業

高槻市立総合スポーツセンター、萩谷総合公園、古曽部防災公園における体育施設の指定管理者として、各種スポーツ教室の開催や各種自主事業を積極的に開催すると共に、総合スポーツセンターなどの各種体育施設の管理運営を行うことにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現を図るため、一層効果的・効率的な事業を実施する。

#### (1) 高槻市立小学校運動場夜間照明施設管理運営受託事業

夜間の時間帯における地域スポーツの振興を図り、スポーツを通じた市民の福祉の増進に寄与するため、高槻市立小学校運動場夜間照明施設の管理運営事業を高槻市から受託する。

- ① 桃園小学校運動場夜間照明施設
- ② 阿武山小学校運動場夜間照明施設

## (2) 総合体育館他15施設の指定管理事業

高槻市から指定管理者として指定を受けた社会体育施設が、市民の誰もが生涯を通じて気軽に体育・スポーツ活動に親しみ、健康づくり及びコミュニティづくりのための施設として効果的・効率的に活用されるように管理運営を行う。

### 高槻市立総合スポーツセンター施設

- ① 高槻市立総合体育館
- ② 高槻市立陸上競技場
- ③ 高槻市立スポーツセンターテニスコート
- ④ 高槻市立青少年運動広場
- ⑤ 高槻市立堤運動広場
- ⑥ 高槻市立牧田運動広場
- ⑦ 高槻市立庄所運動広場
- ⑧ 高槻市立南大樋運動広場
- ⑨ 高槻市立西大樋テニスコート
- ⑩ 高槻市立郡家テニスコート
- ⑪ 芥川緑地テニスコート

### 萩谷総合公園内スポーツ施設

- ① テニス場
- ② 野球場
- ③ サッカー場

### 古曽部防災公園内スポーツ施設

- ① 体育館
- ② 野球場

## (ア) 個別課題に対応したスポーツ教室

体を動かす機会の少ない人の健康づくりや家庭や地域での世代を超えたコミュニケーションづくりを図るために、子どもから高齢者を対象に“誰もが手軽に楽しめる”各種スポーツ教室を実施する。

## (イ) スポーツ指導者育成講座

安心して安全にスポーツを行うための指導者の育成やスポーツに関する正しい知識と技術の普及を目的としてスポーツ指導者育成講座(高槻スポーツ大学)を開催する。

日程	会場	テーマ
5月～ 11月	総合スポーツセンター	スポーツ指導者等育成のための各種スポーツ理論とその実践について学ぶ

## (ウ) 相談等の実施

各施設の利用方法や生涯スポーツの取り組み方(安全なスポーツ活動、指導上の相談、スポーツを通しての仲間づくりなど)及び心身の健康問題など、市民が自分のライフスタイルに合ったスポーツに出会い、心身ともに明るく健康的な生活を送れることをめざして、「スポーツなんでも相談」窓口を設置し、事業団職員がアドバイスする。

### (エ) 生涯スポーツ社会の実現に向けた調査研究活動

アンケート調査を実施し、生涯スポーツ社会にむけた事業のあり方等についての調査研究を行う。

### (オ) スポーツ情報提供事業

各種スポーツ大会や教室、イベント、スポーツ施設の利用方法などの情報をホームページや広報紙などで配信し、新鮮かつリアルタイムな情報を提供するとともに市民とのコミュニケーションツールとして活用していただき、より多くの市民がスポーツに参加できる機会を提供する。

### (カ) スポーツ安全講習会

スポーツ活動中の「熱中症」や「落雷事故」等の予防に関する講習会や事故が発生した場合の救命処置などが的確に行動できるよう「AED」を使用した心肺蘇生法に関するスポーツ安全講習会を実施する。

## (3) 体力づくり教室

スポーツに対する多種多様な住民ニーズに対応するとともに、計画的な健康・体力づくりに向けたプラン提供や指導を行い、スポーツの日常化を促進するため、各施設の効用を最大限発揮させながら各種スポーツ教室・講座等を積極的に開催する。

対象者	教室名	総合スポーツセンター総合体育館			
		定員	回数	期間	時間
60歳以上	健康維持スポーツ	50人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	13:30～ 15:00
18歳～59歳	体引き締め エクササイズ	50人	10回	春季(4月～6月)	10:30～ 11:30
小学生 (全学年)	ジュニアスポーツ	40人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月)	9:15～ 10:30
小学生 (高学年)	ジュニア体育 高学年	40人	10回	夏季(7月～9月) 冬季(1月～3月)	10:45～ 12:00
小学生 (低学年)	ジュニア体育 低学年	40人	10回	夏季(7月～9月) 冬季(1月～3月)	9:15～ 10:30
幼児 (3歳～6歳) と保護者	親子ではじめる スポーツ	20組 (40人)	10回	秋季(10月～12月)	10:15～ 11:30
幼児 (4歳～6歳)	幼児体育教室 (ステップクラス)	40人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	15:40～ 16:40
幼児 (3歳～4歳)	幼児体育教室 (スタートクラス)	40人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	10:30～ 11:30
障がい児と 保護者	障がい児 親子体育教室	20組 (40人)	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月)	10:45～ 12:00
障がい児・者	障がい児・者 スポーツ教室	30人	20回	年間通じて20回	10:00～ 11:30
どなたでも	障がい者 スポーツ講習会	30人	5回	年間通じて5回	19:00～ 20:30

対象者	教室名	古曽部防災公園体育館			
		定員	回数	期間	時間
60歳以上	楽ラク健康づくり	50人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月)	13:30～ 15:00
	活いき レクリエーション			夏季(7月～9月) 冬季(1月～3月)	
18歳～59歳	体引き締め エクササイズ	50人	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	10:30～ 11:30
小学生 (全学年)	ジュニア体育 &スポーツ	40人	10回	春季(4月～6月) 夏季(7月～9月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	9:15～ 10:30
幼児 (3歳～6歳)	幼児体育教室	40人	10回	春季(4月～6月) 夏季(7月～9月) 秋季(10月～12月) 冬季(1月～3月)	15:40～ 16:40
幼児 (3歳～6歳) と保護者	親子ではじめる スポーツ	20組 (40人)	10回	春季(4月～6月) 秋季(10月～12月)	10:45～ 12:00
3歳～小学6年生の 障がい児と保護者	障がい児 親子体育教室	20組 (40人)	10回	夏季(7月～9月) 冬季(1月～3月)	10:45～ 12:00
障がい児・者	障がい児・者 スポーツ教室	30人	20回	年間通じて20回	13:30～ 15:00
どなたでも	障がい者 スポーツ講習会	30人	5回	年間通じて5回	19:00～ 20:30

## 2 市民スポーツ活動支援事業

### (1)総合型地域スポーツクラブへの支援・連携事業

すべての地域住民の健康増進と世代を超えた交流促進により、活力あふれるまちづくりに寄与することを目的とする「総合型地域スポーツクラブ」の設立支援や連携事業を行う。

### (2)スポーツ大会への支援事業

スポーツに親しめる一日として、市民の健康づくり、スポーツ振興を目的とした「市民スポーツ祭」、市民の体力向上とアマチュアスポーツの振興を図る「シティーハーフマラソン」や「クロスカントリー大会」へ職員スタッフを派遣するとともに、高槻市スポーツ団体協議会事務局の支援等も含め、市民のだれもがスポーツを「する」・「みる」・「ささえる(育てる)」環境の場を提供し、生涯スポーツの振興を図る協力団体として参加する。

### (3)スポーツ教室事業

日ごろの運動不足を解消し、スポーツに触れ合う機会を提供するため、幅広い世代を対象として、運動量が適度で誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及を図る。

## 収益事業

体育施設利用者への利便提供のため、飲料水等の自動販売機を体育館、競技場、運動広場、公園等に設置し、販売手数料としての収入を見込んでいる。

<設置台数>

施設名	台数	施設名	台数
総合スポーツセンター	1台	郡家テニスコート	1台
堤運動広場	2台	萩谷総合公園	5台
庄所運動広場	1台	古曾部防災公園	4台

## 職員体制

(平成31年2月1日現在)

代表理事		常勤職員			非常勤職員	臨時職員
理事長	常務理事	事務局長	派遣職員	再任用制度 適用職員		
1名	(1名)	(1名)	11名	8名	29名	13名

※ ( ) は兼務、派遣職員を含む。

総数 62名

正味財産増減予算書  
平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20,000	20,000	0
基本財産受取利息	20,000	20,000	0
施設管理受託収益	524,105,000	515,771,000	8,334,000
①指定管理料	299,562,000	296,720,000	2,842,000
②受託料	224,543,000	219,051,000	5,492,000
事業収益	7,000,000	7,000,000	0
飲料水自動販売機等収益	7,000,000	7,000,000	0
受取補助金	39,570,000	37,307,000	2,263,000
雑収益	175,000	175,000	0
受取利息	3,000	3,000	0
雑収益	172,000	172,000	0
経常収益計	570,870,000	560,273,000	10,597,000
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	170,000	1,368,000	△ 1,198,000
給料手当	94,098,000	92,090,000	2,008,000
臨時雇賃金	18,246,000	19,935,000	△ 1,689,000
福利厚生費	17,032,000	16,533,000	499,000
諸謝金	1,022,000	996,000	26,000
旅費交通費	69,000	67,000	2,000
消耗品費	10,792,000	10,718,000	74,000
消耗什器備品費	352,000	350,000	2,000
燃料費	1,430,000	1,411,000	19,000
会議費	77,000	77,000	0
印刷製本費	11,000	10,000	1,000
光熱水料費	41,658,000	40,919,000	739,000
修繕費	21,302,000	21,133,000	169,000
医薬材料費	27,000	26,000	1,000
通信運搬費	1,873,000	1,918,000	△ 45,000
手数料	282,000	296,000	△ 14,000
保険料	3,918,000	4,057,000	△ 139,000
委託費	310,129,000	302,828,000	7,301,000
賃借料	4,021,000	4,662,000	△ 641,000
負担金	1,069,000	1,065,000	4,000
租税公課	9,829,000	9,699,000	130,000



正味財産増減予算書  
平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	1,610,000	412,000	1,198,000
給料手当	19,736,000	18,028,000	1,708,000
臨時雇賃金	10,000	10,000	0
福利厚生費	3,788,000	3,438,000	350,000
諸謝金	40,000	40,000	0
旅費交通費	109,000	108,000	1,000
消耗品費	430,000	426,000	4,000
消耗什器備品費	51,000	95,000	△ 44,000
燃料費	122,000	120,000	2,000
会議費	20,000	20,000	0
印刷製本費	138,000	137,000	1,000
光熱水料費	452,000	448,000	4,000
修繕費	67,000	66,000	1,000
通信運搬費	515,000	510,000	5,000
手数料	399,000	416,000	△ 17,000
保険料	250,000	257,000	△ 7,000
委託費	769,000	954,000	△ 185,000
賃借料	4,499,000	4,126,000	373,000
負担金	219,000	257,000	△ 38,000
租税公課	239,000	247,000	△ 8,000
経常費用計	570,870,000	560,273,000	10,597,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外費用計	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0		
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	24,738,000	24,738,000	0
一般正味財産期末残高	24,738,000	24,738,000	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	49,200,000	49,200,000	0
指定正味財産期末残高	49,200,000	49,200,000	0
III 正味財産期末残高	73,938,000	73,938,000	0

正味財産増減予算書内訳表  
平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計			収 益 事 業 等 計 会 計	法 人 会 計	内 部 取 引 等 消 去	合 計
	公1事業 緑化森林 推進事業	公2事業 スポーツ 振興事業	小 計				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	20,000		20,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	20,000		20,000
施設管理受託収益	268,099,000	256,006,000	524,105,000	0	0		524,105,000
①指定管理料	45,803,000	253,759,000	299,562,000	0	0		299,562,000
②受託料	222,296,000	2,247,000	224,543,000	0	0		224,543,000
事業収益	0	0	0	7,000,000	0		7,000,000
飲料水自動販売機等収益	0	0	0	7,000,000	0		7,000,000
受取補助金	3,042,000	5,188,000	8,230,000	0	31,340,000		39,570,000
雑収益	172,000	0	172,000	0	3,000		175,000
受取利息	0	0	0	0	3,000		3,000
雑収益	172,000	0	172,000	0	0		172,000
経常収益計	271,313,000	261,194,000	532,507,000	7,000,000	31,363,000		570,870,000
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	50,000	120,000	170,000	0			170,000
給料手当	35,262,000	58,836,000	94,098,000	0			94,098,000
臨時雇賃金	4,942,000	13,304,000	18,246,000	0			18,246,000
福利厚生費	6,269,000	10,763,000	17,032,000	0			17,032,000
諸謝金	144,000	878,000	1,022,000	0			1,022,000
旅費交通費	31,000	38,000	69,000	0			69,000
消耗品費	5,046,000	5,746,000	10,792,000	0			10,792,000
消耗什器備品費	100,000	252,000	352,000	0			352,000
燃料費	1,235,000	195,000	1,430,000	0			1,430,000
会議費	5,000	72,000	77,000	0			77,000
印刷製本費	0	11,000	11,000	0			11,000
光熱水料費	3,392,000	38,266,000	41,658,000	0			41,658,000
修繕費	6,847,000	14,455,000	21,302,000	0			21,302,000
医薬材料費	0	27,000	27,000	0			27,000
通信運搬費	246,000	1,627,000	1,873,000	0			1,873,000
手数料	222,000	60,000	282,000	0			282,000
保険料	1,391,000	2,527,000	3,918,000	0			3,918,000
委託費	203,060,000	107,069,000	310,129,000	0			310,129,000
賃借料	1,490,000	2,375,000	3,865,000	156,000			4,021,000
負担金	411,000	28,000	439,000	630,000			1,069,000
租税公課	3,308,000	5,971,000	9,279,000	550,000			9,829,000

正味財産増減予算書内訳表  
平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計			収 益 事 業 等 計 收 会	法 人 会 計	内 部 取 引 等 消 去	合 計
	公1事業 緑化森林 推進事業	公2事業 スポーツ 振興事業	小 計				
管理費							
役員報酬					1,610,000		1,610,000
給料手当					19,736,000		19,736,000
臨時雇賃金					10,000		10,000
福利厚生費					3,788,000		3,788,000
諸謝金					40,000		40,000
旅費交通費					109,000		109,000
消耗品費					430,000		430,000
消耗什器備品費					51,000		51,000
燃料費					122,000		122,000
会議費					20,000		20,000
印刷製本費					138,000		138,000
光熱水料費					452,000		452,000
修繕費					67,000		67,000
通信運搬費					515,000		515,000
手数料					399,000		399,000
保険料					250,000		250,000
委託費					769,000		769,000
賃借料					4,499,000		4,499,000
負担金					219,000		219,000
租税公課					239,000		239,000
経常費用計	273,451,000	262,620,000	536,071,000	1,336,000	33,463,000		570,870,000
当期経常増減額	△ 2,138,000	△ 1,426,000	△ 3,564,000	5,664,000	△ 2,100,000		0
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0		0
当期経常外費用計	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,138,000	△ 1,426,000	△ 3,564,000	5,664,000	△ 2,100,000		0
他会計振替額	2,138,000	1,426,000	3,564,000	△ 5,664,000	2,100,000		0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	24,738,000		24,738,000
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	24,738,000		24,738,000
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	49,200,000		49,200,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	49,200,000		49,200,000
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	73,938,000		73,938,000